

令十九六三六	第一九野戰飛行場設定隊ヲ指揮下ニ令シタル
令十九七十五	第三八師團長ヲ指揮下ニ令スル
令十九八一	要塞建築第八中隊及第一九野戰飛行場設定隊指揮ヲ解カル
令十九八七	独立混成第四十五旅團長ヲ指揮ヲ脱ス
令十九八三	第三九航空地之司令官ヲ指揮下ニ令ス
令十九九十四	第三九航空地之司令官ヲ指揮下ニ令ス
令二十三	第三八師團長ヲ指揮下ニ令ス
同日	第九飛行團長ヲ指揮下ニ令ス
令二十七十五	第三十二軍司令官ヲ隸下ニ令ス
令二十八十五	第八飛行師團長ヲ指揮下ニ令ス

主要ナル作戦名稱	期間	作戦概要	飛揚損耗
台湾沖航	一月一日	昭々前日ト同様中及海軍飛行場ニ未だ昭々地上飛行場ヲ野原岳方面ヨリ襲ハル地上ニ在リシ八九式敵機一機ヲ撃墜ス又上ノ攻撃ニ回リ其ノ他海軍飛行場ヲ攻撃シ我方飛行機數機ヲ炎上ス部隊討空火器八應射ス	炎上飛行機九
空作戦	二月二日	昭々前日ト同様中及海軍飛行場ニ未だ昭々地上飛行場ヲ野原岳方面ヨリ襲ハル地上ニ在リシ八九式敵機一機ヲ撃墜ス又上ノ攻撃ニ回リ其ノ他海軍飛行場ヲ攻撃シ我方飛行機數機ヲ炎上ス部隊討空火器八應射ス	無傷ナシ
天	三月十日	米國機動部隊攻撃ヲメ及軍機約五機ヲ炎上ス昭々前日ト同様中及海軍飛行場ニ未だ昭々地上飛行場ヲ野原岳方面ヨリ襲ハル地上ニ在リシ八九式敵機一機ヲ撃墜ス又上ノ攻撃ニ回リ其ノ他海軍飛行場ヲ攻撃シ我方飛行機數機ヲ炎上ス部隊討空火器八應射ス	戦死 兵一 軽傷 下官一 兵二
天	三月十一日	有カナル米面上陸部隊ハ沖繩本島ニ對シ上陸ヲ企圖シ昭々前日ト同様中及海軍飛行場ニ未だ昭々地上飛行場ヲ野原岳方面ヨリ襲ハル地上ニ在リシ八九式敵機一機ヲ撃墜ス又上ノ攻撃ニ回リ其ノ他海軍飛行場ヲ攻撃シ我方飛行機數機ヲ炎上ス部隊討空火器八應射ス	戦死 將校一 下官三 兵八

航空

作戦

十一年三月五日  
十一年三月七日

予夜間又ハ拂曉時ヲ利用シ沖繩本島附近ノ米艦船攻撃ニ出動部隊ハ全カヲ以テ之ヲ協カス  
即チ燃焼補給及攻撃機ヲ投下シ協カセリ  
本期間ハ  
延米襲撃機 約一ニ〇〇機  
投下爆弾数 約二ニ〇〇發  
(中飛行場附近)

戦傷

將校 二

下士官 一

其他 兵 一五

被服 相當數

一、給養、衛生

給養ニ就イテ

給養ハ殆ンド部隊自炊ヲ行ヒタルモノニシテ特ニ作戦間於ケル炊事要領ハ至難ナル事実ニシテ一回ハ見事ニ爆破マシタリ  
故ニ之ハ米國船ニ依リ歸還時受ケタル給養、如ク繁忙ナル戦斗間ニテモ確証、如キモノヲ以テ代用スル等斯カラス考慮ラ要スルモノアリ

即チ或程度ハ科學的ニ事ヲ處スル要アリト痛感ス

二、衛生ニ就イテ

宮古島ハ濕熱帶地方ニシテ「デング」熱「マラリア」及「諸種」皮膚病等々多發シ部隊ニ於テモ之等ノ病ニテ死セラル者ニナ四名ニ達マリ而シテ之等ノ対策ハ上級指揮官ニ於テ防班等ヲ編成大ニ考慮セラレタルモ其成果殆んどナク數多死セラル者ヲ出セルハ其対策ニ於テ何等カノ欠陥アリト思惟セラル

米軍ハ進駐後飛行機ニリト上空ヨリ驅除液ヲ撒布セル事屢アリ

一、終戦ヨリ歸還迄ノ行動ノ概要

終戦後ハ拳銃兵器ノ處理ヲ行フト共ニ部隊ハ全カヲ現地自活ニ傾注マリ又一方ニ於テ精神教育ノ徹底ヲ努メ明朗快活新日本建設ニ邁進スベキ人物ノ養成ニ努力シテ現在ニ至レリ

一、其ノ他部隊經歷中特異ト認メラルル事項ナシ